

済生会熊本病院における RAPN ビッグデータを用いた 周術期・腎機能・腫瘍学的転帰の包括的解析

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡ください。

研究の目的と方法

当院では、腎腫瘍に対するロボット支援腎部分切除術(RAPN)を多数実施しており、その診療データを用いて治療成績を評価する研究を行います。本研究の目的は、RAPN の周術期成績、術後の腎機能、再発や生存などの腫瘍学的転帰を包括的に解析し、良好な治療成績に関連する要因や合併症の危険因子、術者や術式による成績の変化を明らかにすることです。

対象となる方の電子カルテ、手術記録、麻酔記録、画像検査結果、病理記録および術後経過などの既存の診療情報を収集して解析します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2016 年 6 月～2030 年 3 月に腎腫瘍に対する RAPN を施行された症例

使用する試料・情報

年齢、性別、身長・体重、併存疾患、検査結果、画像所見、手術内容、病理結果、合併症、術後経過、生存情報など。

使用開始予定日：2026 年 9 月 15 日

研究予定期間

2026 年 9 月 15 日～2031 年 3 月 31 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。氏名や患者 ID などの個人を特定できる情報を削除し、研究用 ID を付して管理します。患者 ID と研究用 ID の対応表は適切に管理し、外部に漏れないよう取り扱います。研究成果を学会等で発表する予定ですが、個人が特定されることはありません。

〔研究情報管理責任者〕泌尿器科 元島崇信

〔個人情報管理責任者〕院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止するとともに、収集した情報等も可能な限り削除します。既に研究成果の公表後などで削除が困難な場合は、その旨をご説明します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係がなく、ご協力いただけない場合も不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することができます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 泌尿器科 元島崇信

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000（代表）